

事務処理標準化WGの進捗状況について

1 協議事項

- (1) 資格事務の標準化
- (2) 給付事務の適正化
- (3) その他事務処理標準化に関すること

2 構成団体

所沢市、本庄市、草加市、戸田市、久喜市、伊奈町、川島町、長瀨町、さいたま市、埼玉県国民健康保険団体連合会、埼玉県

3 開催状況

第1回 平成30年7月26日（木）10：00～11：50

（議題）

- 1 事務処理標準化ワーキンググループについて
- 2 今後のスケジュール（予定）について
- 3 平成30年度事務処理標準化ワーキンググループの検討事項について
- 4 その他

第2回 平成30年9月21日（金）14：00～15：35

（議題）

- 1 被保険者証と高齢受給者証を一体化した市町の事務処理について
- 2 年度末の普通交付金請求事務の概要について
- 3 その他

第3回 平成30年11月26日（月）14：00～15：45

（議題）

- 1 被保険者証と高齢受給者証の一体化について
- 2 保険給付費等交付金（普通交付金）の年度末の請求方法等について
- 3 事務処理マニュアル（一部負担金減免）の見直しの検討について
- 4 その他

4 検討状況

別紙（裏面）のとおり

5 今後の開催予定

第4回（平成31年3月開催予定）

事務処理標準化ワーキング・グループにおける検討状況

項目	検討状況
被保険者証と高齢受給者証の一体化について	<p>○埼玉県国民健康保険運営方針の「事務の標準化」の項目で被保険者証と高齢受給者証について、平成32年度中の一体化を目指すことを目標にしている。</p> <p>○既に一体化済みの4市町に一体化実施時の状況など聞き取りをし又は事務処理標準化WGに出席を依頼し、一体化を進めるに当たり、どのような課題等があるか具体的に検討している。</p> <p>○参考資料として「被保険者証と高齢受給者証の一体化の切替スケジュール」と「被保険者証発送のスケジュールのイメージ」を作成し、市町村に送付した(平成31年1月8日)。</p>
保険給付費等交付金(普通交付金)の年度末の請求方法等について	<p>○2月診療分の請求については、国保連が請求する際には紙レセプトによる請求分等が集計できないため、市町村の支払額に不足が生じないように、紙請求分等の相当額(一定額)を上乗せする必要がある。</p> <p>○一定額の算出方法については、現時点では、国保中央会(案)によることとし、12月診療分における一定額を参考に、国保連合会が県と調整の上、案を作成し、2月中旬に市町村に提示する予定。</p>
事務処理マニュアル(一部負担金減免)の見直しについて	<p>○生活扶助基準の見直しに伴い、事務処理マニュアル【給付編】の一部負担金の免除の基準について、検討し、改正した(平成30年11月30日に各市町村に通知)</p>